



もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください	4
ご使用にあたってのお願い	6
各部のはたらき	7

リモコンの使いかた

リモコンのはたらき	8
「蛇口・シャワー」の温度を決める	9
時刻を合わせる	10
音声ガイダンスの音量を調節する	11
たくさんお湯を使う(わき増し)	12
わき上げモードを設定する	13
数日間わき上げを停止するとき	14
残湯量表示	15
タンク内温度を表示する	16
お湯の使用量を表示する	17

こんなとき

お手入れと点検	18
凍結防止	20
停電・断水時(水が濁る)など	21
長期間使用しない	22
タンクに水を入れる(準備)	24
災害時にタンクの水を取り出す	26
定期点検(有料)	27
機器の役割など	28
仕様	29

故障かな

故障かな?と思ったら	30
リモコンにエラーが表示された場合	33
アフターサービス	34

ご使用の手順

必ずお読みください。

- 「安全のために必ずお守りください」P.4
- 「ご使用にあたってのお願い」P.6

お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

台所リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

- ▶そのままご使用できます。(へ)



点灯時(例)

「**満タン**」の表示がでている場合は満タンスイッチを押してください。約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

表示が消灯している

または

タンクに水が入っていない方

- ▶タンクに水を入れるP.24に従ってください。

お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

- 蛇口やシャワーの温度を決める



お手入れをします。

- 日常のお手入れ P.18
時刻の確認など
- 1年に2～3回のお手入れ P.18

早見表

「蛇口・シャワー」の温度を決める



9

時刻を合わせる



10

わき上げモードを設定する



13

安全のために必ずお守りください

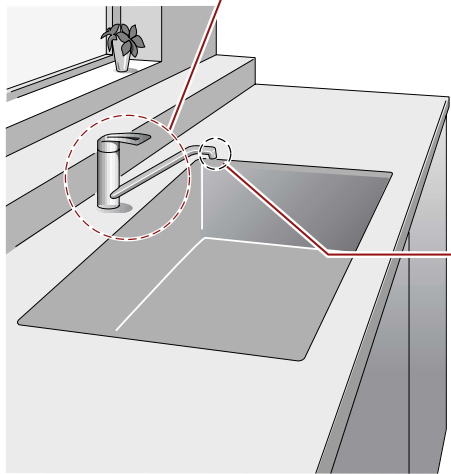



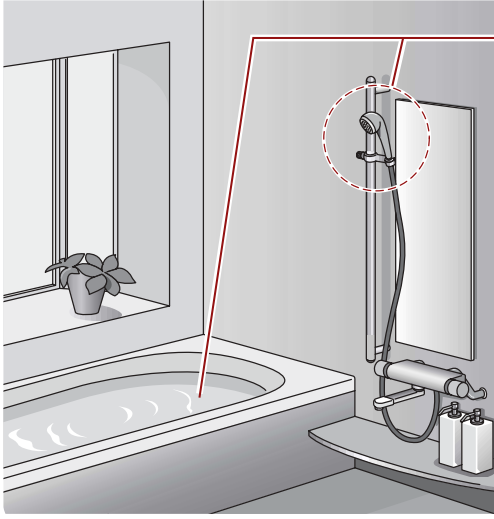


誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。
-------------	----------------------------------	-------------	--------------------------------------

本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。







	禁止		指示に従う		感電注意		高温注意		発火注意		回転物注意
---	----	---	-------	---	------	---	------	---	------	---	-------

やけどを防ぐために！








⚠ 警告 	 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない やけど注意
	 使いはじめは、湯温を確認する 特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。 空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
	 入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する
	
 ヒートポンプ配管に手を触れない やけど注意	
 給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する	

部品名は各部のはたらき(7)をご覧ください。



安全に使用するために

⚠ 警告	 前面カバーや工事用窓を開けない 改造しない <small>分解禁止</small>	
	 近くにガス類や引火物を置かない (ガスボンベからは2m以上離す。)	 ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない
	 異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバ-を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口 35」へ連絡する	
⚠ 注意	 そのまま飲用しない 長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 ●熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。	
	 機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない (事故・やけどの原因になります。)	

機器の点検・お手入れに関する注意

⚠ 警告	 漏電遮断器の動作を確認する 18	
	 逃し弁の点検をする(タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。) 18 ●点検時は内部の配管に手を触れない ●点検終了後、操作窓は閉じる	
	 アース工事を確認する (故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店(販売店)へお問い合わせください。)	
⚠ 注意	 ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない (ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。)	
	 凍結防止対策の確認をする 20 (タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。)	 床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する (水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。)
	 操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる (雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。)	

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠ 警告	 長期間使用しないときは、本書の手順に従って、機器と配管内の水を確実に抜く 22 ●排水時はお湯に手を触れない ●タンクの熱湯を直接排水しない
⚠ 注意	 初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う 24

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。わき上げモードは、「おまかせ」を推奨していますが、使いかたによってはお湯がたりなくなることがあります。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）



- 洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。



時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

リモコンに水をかけない

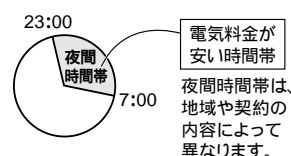
- リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）

必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の品質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。）

夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかします。この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。



お湯の温度が低い

- 蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなることがあります。



機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。（性能低下や故障の原因）

浴槽等の点検

- 浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

機器の設置状況を確認する

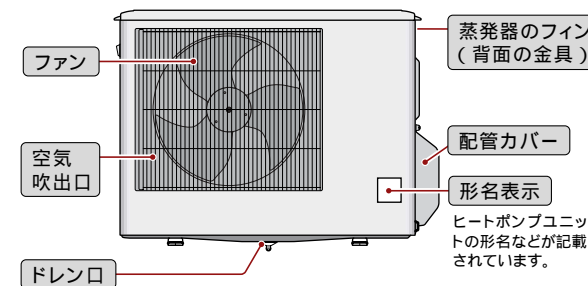
以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）
- 一般地向け：最低気温がマイナス10 以下となる場所
- 寒冷地向け：最低気温がマイナス25 以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

各部のはたらき

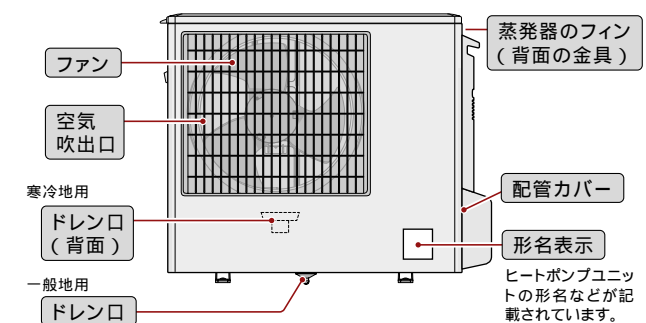
ヒートポンプユニット

一般地向け370L、460L用



運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）ことがあります。故障ではありません。

一般地向け550L、寒冷地向け用



運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）ことがあります。故障ではありません。

貯湯タンクユニット

上部振れ止め金具

2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

逃し弁 操作窓

逃し弁の操作や点検をするときに開けます。



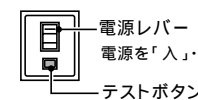
逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）以下にします。



減圧弁
タンクへの給水圧力（170kPa）を保ちます。

操作カバー

漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。つまみねじを回して開けます。



工事用窓

絶対に開けないでください。

非常用取水栓

非常の際には、タンクの水（お湯）を取り出して生活用水として利用できます。

26

排水栓

タンクのお湯を排水するときに使用します。

22

排水口

逃し弁、排水栓からのお湯（水）や湯気が出ます。

「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

タンク

前面カバー

形名表示

貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

水抜き栓

詳細は22 参照

脚部カバー（別売）

外しかたなどの詳細は22 参照

脚

ドレンホース


万一の水漏れの場合は、ここから排水します。


リモコンのはたらき


リモコン


フタを開けた状態です。

アールエムシー エヌ
形名:RMC-N3

音声ガイダンスの音量を設定できます。 11

タンク内の湯のわき増しができます。 12

わき上げモードを設定します。 13

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 10


各機能の設定値を変更するスイッチです。また、スマート機能の表示・設定中は、下記スマート機能の選択を行えるようになります。


スマート機能

- タンク内温度表示 16
- 電力契約モード確認 25
- お湯の使用量表示 17

バックライト付き

約1分以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。(バックライト自動消灯機能)

数日間給湯機のわき上げを停止するとき 사용합니다。 14

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 9

また、スマート機能の設定を変更するスイッチです。

各機能の設定値を確認するスイッチです。また、3秒押しでスマート機能の表示・設定を行えるようになります。

リモコン形名表示

表示部 (説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。)

操作が無効のときに点滅

タンク内のお湯がなくなると点滅または点灯

わき上げ時に点灯

残湯量(お湯の量)を表示

音声ガイダンスの音量設定時に表示

わき上げモードを表示

高温(50、60)の給湯温度設定時に点灯

給湯温度を表示

満タンわき増し設定時に点灯

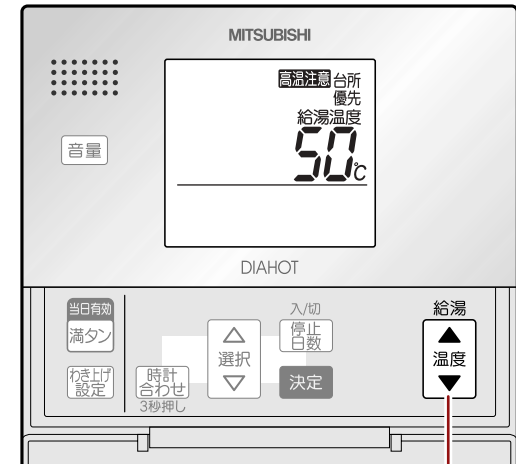
現在時刻、停止日数の設定時に表示

現在時刻、停止日数、タンク内温度などを表示

「蛇口・シャワー」の温度を決める

給湯温度(蛇口・シャワーへ行くお湯の温度)を設定します。

リモコン





1


設定できる範囲

35 ~ 48 (1 刻み) / 50 / 60
工場出荷時は50

温度は目安です。

1 給湯温度設定スイッチを押して給湯温度を設定する

- ▶  を押すと温度が上がります。
- ▶  を押すと温度が下がります。

▶ 設定完了です。( 音声ガイダンス)

高温注意 台所優先
給湯温度
50℃

- 給湯温度を50 または60 に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。60 に設定した場合は警告音が鳴ります。(音声ガイダンスも流れます。)

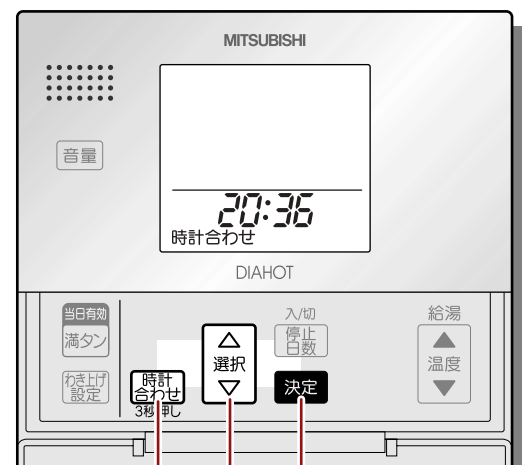
ポイント

- タンク内の温度が低いとき(特にわき上げモードが「少なめ」の場合など)は、設定より低い温度のお湯が出る場合があります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなる場合があります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10 以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60 にし、水と混ぜてご使用ください。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

リモコン



1、3 2 3

1 「時計合わせ」を3秒以上押す

- ▶「時計合わせ」が表示されます。
(●◀音声ガイダンス)



例)午後8時35分

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- []:点灯、[]:点滅

2 選択スイッチを押して時刻を合わせる

- ▶[]を押すと1分間進みます。
- ▶[]を押すと1分間戻ります。
(押し続けると、連続してかわります。)



例)午後8時36分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 「決定」または「時計合わせ」を押す

- ▶設定完了です。(●◀音声ガイダンス)



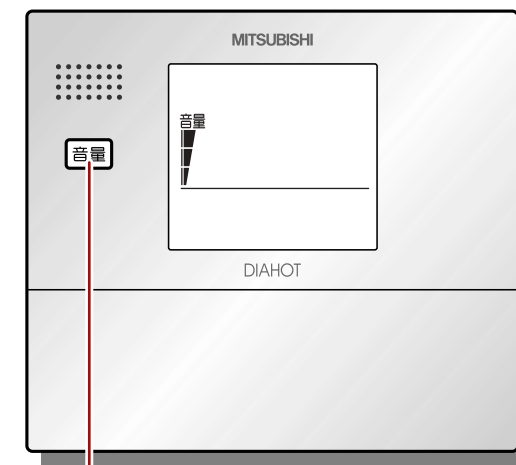
時計合わせ

- ポイント**
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
 - 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻に合わせてください。

音声ガイダンスの音量を調節する

リモコンの音声ガイダンス(操作を音声でガイドする機能)の音量を変えたり、切ることができます。

リモコン



1、2

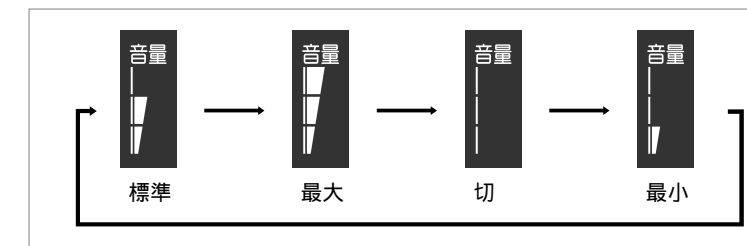
1 「音量」を押す

- ▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。
(●◀音声ガイダンス)

- 工場出荷時は「標準」に設定されています。

2 音量確認(手順1)後、10秒以内に「音量」を押す

- ▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。



- 切(「音声を切ります」)にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消えません。

ポイント

- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻に合わせてください。

使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

使用前に

使いかた

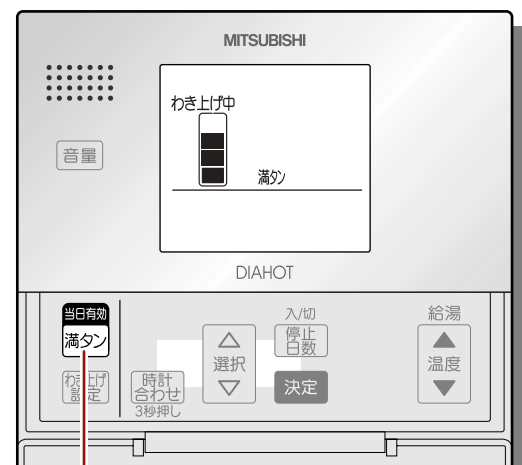
こんなとき

故障かな

たくさんお湯を使う(わき増し)

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

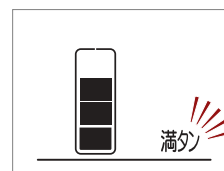
リモコン




1

1 満タンを押す

- ▶「満タン」が表示されます。
- ▶設定完了です。(音声ガイダンス)



- 解除するときは、もう一度、満タンスイッチを押します。(満タン表示が消えます。)
- []:点灯

2 お湯が約50L減るとわき増しを開始します。

- ▶わき増し中は、「わき上げ中」が表示されます。



- ポイント**
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[※]になると自動的に解除されます。
注.夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
 - わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。

わき上げモードを設定する

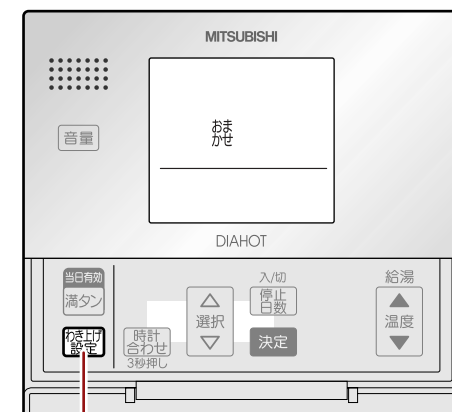
給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。使い始めは「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。

昼間時間帯のわき上げをとめたい時には、「深夜のみ」を設定してください。

表示 (モード)	わき上げ温度の 目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80～90	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。 常にお湯をたっぷり使用する場合や、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	
おまかせ	約65～90	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。
少なめ	約65～80	●季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。使用量が多いと不足します。「多め」または「おまかせ」に設定してください。	●タンク全量をわき上げないことがあります。 (学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。) ●わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。
深夜のみ	約75～90	●夜間時間帯のみにわき上げを行ないます。 (昼間のわき上げを停止します。)	●タンク内のお湯を使い切ると、リモコンに「残湯なし」が表示され、お湯が使えなくなります。

注1.ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90 ですが、配管の施工条件(長さ・断熱など)と外気温によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。
注2.「多め」「おまかせ」「少なめ」を設定中は、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。

リモコン



1


1 わき上げ設定を押す

- ▶押すごとに、わき上げモードが移動します。


おまかせ — 少なめ — 深夜のみ — 多め


学習機能付き

季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。()



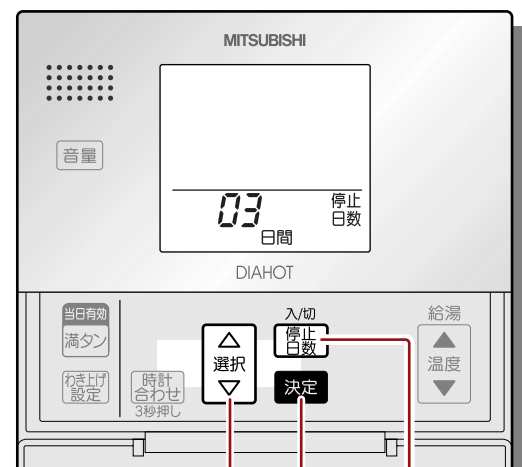
- 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
- []:点灯

- ポイント**
- 「おまかせ」「少なめ」の場合、わき上げ量を少なくするため、タンク内の残湯量が多いときはタンク内の温度が低くなる場合があります。
 - 「深夜のみ」で使用して湯切れする場合は「多め」「おまかせ」で使用してください。
 - 「深夜のみ」を設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。
 - 万一、湯切れした場合は、満タンわき増し()をご利用ください。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン



2 3 1、3

わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

- 出発日(1日)に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない (停止)	使用しない (停止)	使用しない (停止)	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

予定日より早く帰宅した場合

まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 入/切 停止日数 を押す

- ▶ メニューに「停止日数」が表示されます。
(●音声ガイダンス)



- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- [点灯]、[点滅]

2 選択スイッチを押して 停止日数を合わせる

- ▶ [△] を押すと日数が進みます。
[▽] を押すと日数が戻ります。
(押し続けると、連続してかわります。)



- 設定範囲は、「2～15日」、「長期停止」です。

表示	停止日数
長期停止	長期停止
15 日間	15日
}	
02 日間	2日
00 日間	解除

- 長期停止を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 解除するときは、もう一度、停止日数スイッチを押します。

3 決定 または 入/切 停止日数 を押す

- ▶ 設定完了です。
(●音声ガイダンス)



ポイント ● 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。

- 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。

- 長期間(1か月以上)使用しないときは、P22 の手順に従って貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水抜きをしてください。

残湯量表示

タンク内の残湯量(45 L 以上のお湯の量)をリモコンに表示します。

お湯が少なくなったときは、リモコンに「残湯なし」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	残湯なし(点滅)	残湯なし(点灯)	残湯なし(点灯)	■ ■ ■ ■ ■
お湯の量	550L機種 500L以上 (ほぼ満タン)	330L以上 500L未満	150L以上 330L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
お湯の増減	お湯の増減のグラフ表示							

- ポイント
- 残湯量表示の「 ■ ■ ■ ■ ■ 」は45 L 以上のお湯を表しています。
 - 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
 - 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

残湯量表示	残湯なし(点滅)	残湯なし(点滅)	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■
お湯の量	残湯なし	50L未満	50L以上 150L未満	150L以上 270L未満	270L以上 410L未満	410L以上 (ほぼ満タン)

460L機種の場合

使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

使用の前に

使いかた

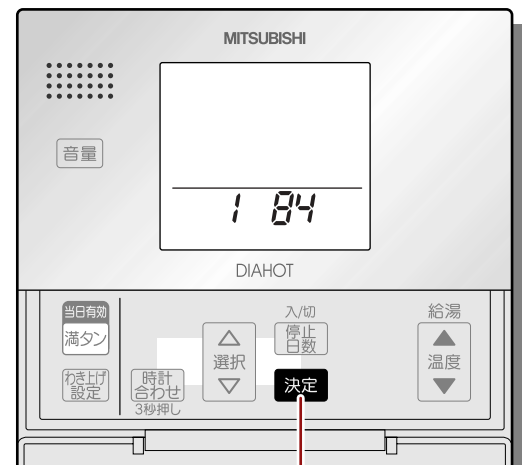
こんなとき

故障かな

タンク内温度を表示する

現在のタンク内温度を表示させることができます。

リモコン



1

1 決定 を3秒以上押す

- ▶機能番号(1)とタンク内の温度が表示されます。
(●音声ガイダンス)

例)8 4



- []:点灯、[]:点滅
- 通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

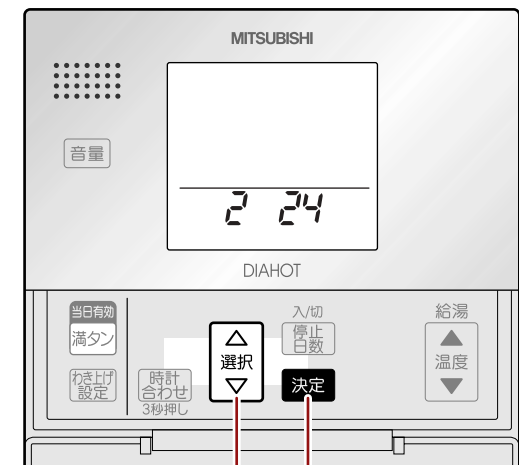
- ポイント**
- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。(ヒートポンプ配管が断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。)
 - タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。(通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。)
 - わき上げ中や、お湯を使用したときは、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

お湯の使用量を表示する

昨日の給湯使用量、過去1週間の1日あたりの平均使用量 を表示させることができます。

お湯の使用量(エネルギー)を4.3 の給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。

リモコン



2 1

1 決定 を3秒以上押す

- ▶機能番号(1)とタンク内の温度が表示されます。
(●音声ガイダンス)

例)8 4

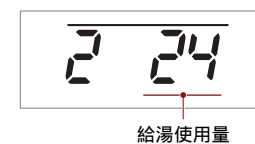


- []:点灯、[]:点滅
- 通常表示(時刻表示)へ戻すときは、決定スイッチを押します。
決定スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。

2 選択スイッチ「△」を押す

- ▶機能番号(2)給湯使用量が表示されます。
- ▶「△」を押すと機能番号が進みます。
「▽」を押すと機能番号が戻ります。
(●音声ガイダンス)

例)昨日の給湯使用量
240L



例)過去1週間の平均使用量
500L



- 表示された数字に10をかけた数値が使用量(L)の目安です。
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24(240L)」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

日常のお手入れ

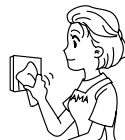
□時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。(**710**)

□リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。



1年に2～3回程度のお手入れと点検

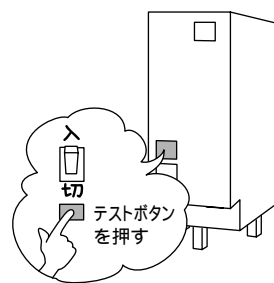
□漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

操作カバーを開け、テストボタンを押す
電源レバーが「入」「切」になれば正常です。
必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

警告 漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

ポイント ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

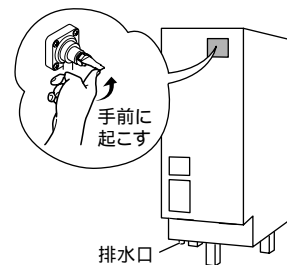


□逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検 逃し弁操作窓を開けて逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水(お湯)が出ることを確認します。水(お湯)が出れば正常です。

水漏れ点検 わき上げをしていないとき(リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき)、排水口から水(お湯)が出ていないかを確認します。水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。



警告 点検時は、配管に手を触れない(やけどの原因)

注意 逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

ポイント ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)

●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

□配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店(販売店)にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

注意 配管を点検をする
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

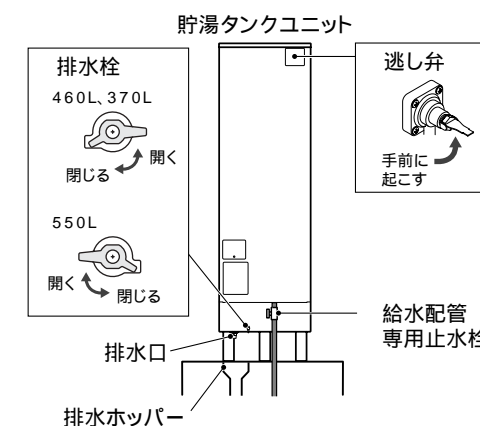
□貯湯タンクのお手入れ

給水配管専用止水栓を閉じる
逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

1～2分たったら、排水栓を閉じる
給水配管専用止水栓を開く
排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

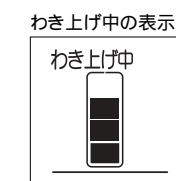
警告 排水時はお湯に手を触れない(やけどの原因)



ポイント ●給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。

●わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき)は行わないでください。

●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店(販売店)へご連絡ください。(有償)



凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0 以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。) 据付工事店(販売店)へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

⚠ 注意

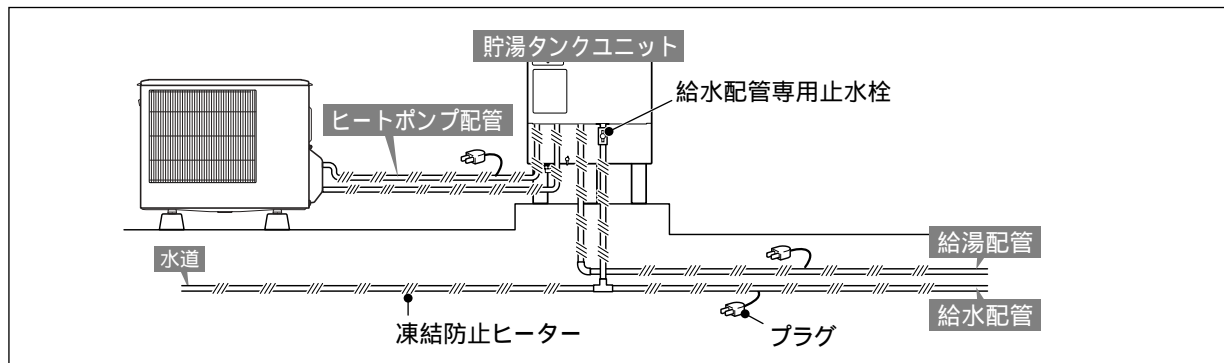
- 凍結防止処置の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

ポイント

- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。(運転停止日数が設定されている場合やわき上げモードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。)

❑ 凍結防止ヒーター(推奨品)を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



ポイント

- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

停電・断水時(水が濁る)など

❑ 停電したとき

この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げモード」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

- 停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

ポイント

- 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。

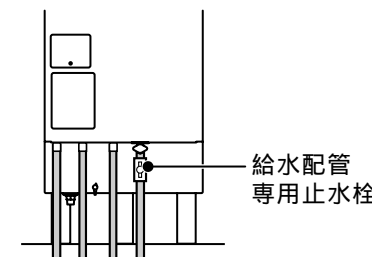
❑ 断水したとき(水が濁る)

断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。) 閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。

工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

貯湯タンクユニット



❑ 給湯を止めるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

ポイント

- パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行ってください。

長期間使用しない

長期間(1カ月以上)使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行わないときは、下記要領で水抜きを行ってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。

警告

排水時は、やけどに注意する

注意

- 長期間(1カ月以上)使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

貯湯タンクユニット

6 逃し弁
手前に起こす

9 逆止弁の解除ボタン
押す

5 給水配管専用止水栓
閉じる

4 漏電遮断器
下げる

7 排水栓
460L、370L
開く
閉じる
550L
開く
閉じる

ヒートポンプユニット

2

8 水抜き栓、ストレーナー、給水配管専用止水栓の取付位置

ヒートポンプユニット

一般地向け370L、460L用

一般地向け550L、寒冷地向け用

B側水抜き栓

熱交換器水抜き栓

貯湯タンクユニット

ヒートポンプ配管用水抜き栓
給湯配管用水抜き栓
ストレーナー
給水配管専用止水栓

「給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

水抜き栓の開きかた

ヒートポンプユニット
B側水抜き栓
熱交換器水抜き栓

開く

貯湯タンクユニット
ヒートポンプ配管用
給湯配管用

開く

ストレーナーの外しかた

左へまわす

配管カバーの外しかた

(1)つまみねじ(1本)を外す
(2)配管カバーを下方にずらしツメを外し、手前に引く

警告

- ヒートポンプ配管に手を触れない(やけどの原因)

一般地向け370L、460L用

つまみねじ

配管カバー

一般地向け550L、寒冷地向け用

つまみねじ

配管カバー

脚部カバーの外しかた

(1)つまみねじ(2本)を外す
(2)脚部カバーを手前に引く

つまみねじ

脚部カバー

1 前日から準備できる(タンクのお湯を抜くことがわかっている)場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する

- あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。
- わき上げ停止日数の設定方法: P14

2 ヒートポンプユニットの配管カバーを外す(貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーも外す)

3 タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す

- 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。

4 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする

5 給水配管専用止水栓を閉じる

貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

6 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

タンクへ空気を取り入れます。

7 貯湯タンクユニットの排水栓を開く

タンクの水(お湯)を抜きます。水が抜けるまでに約1時間かかります。

- 排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

8 タンクの排水が終わったら、機器の水抜き(図に示す各ユニットの水抜き栓を開く)をする

配管の水(お湯)を抜きます。容器などで受けて排水します。

9 給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す

配管の水(お湯)を抜きます。容器などで受けて排水します。

- 水(お湯)が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。

10 手順8、9完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける

11 手順2で外したヒートポンプユニットの配管カバーを取り付ける

- 手順2で外した脚部カバーの前面カバーも取り付けてください。

ポイント

- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。(逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。)
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる(P24)を行ってください。

使用前の
前に

使いかた

こんなとき

故障
かな

使用前の
前に

使いかた

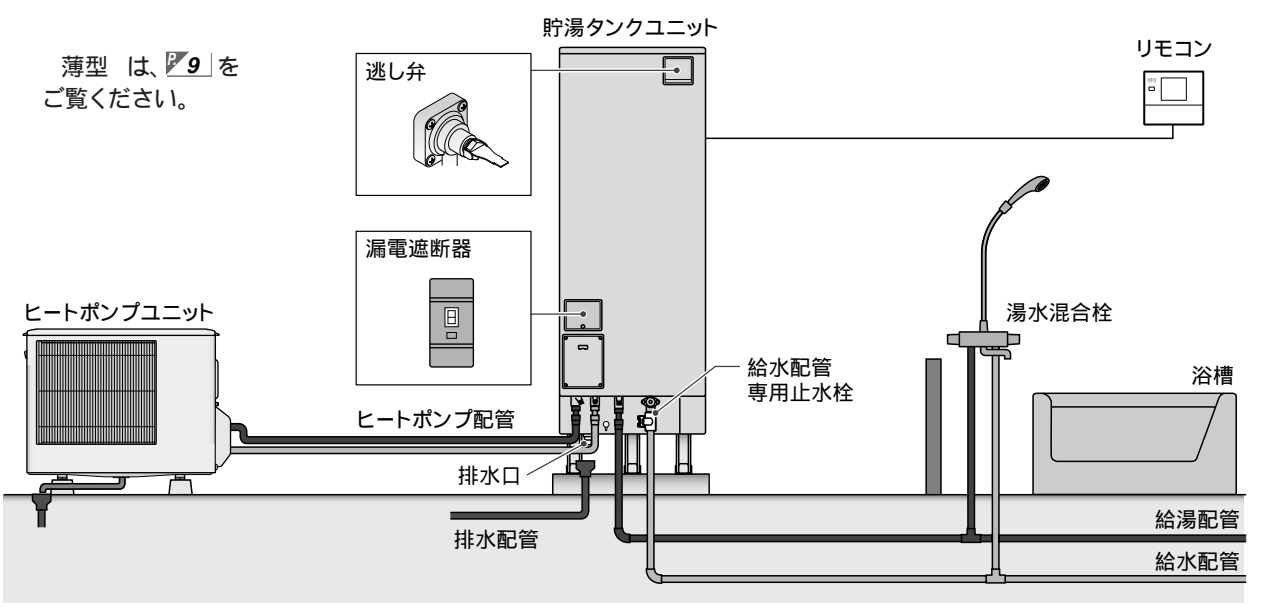
こんなとき

故障
かな

タンクに水を入れる(準備)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、**22** に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。



1. 以下のことを確認する

- (1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認する
- (2) ヒートポンプユニットの配管カバーを開け、水抜き栓(2カ所)が閉じていることを確認する **22**
- (3) 貯湯タンクユニットの水抜き栓、非常用取水栓、排水栓、ストレーナーが閉じていることを確認する **22**
- (4) すべての蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する

2. 貯湯タンクユニットを初期状態にする

(1) 200V電源ブレーカーを「入」にする

(2) 漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

(3) 約30秒間「入」にした後、電源レバーを下げ、「切」にする

(4) 200V電源ブレーカーを「切」にする

3. 機器(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)を満水にする

(1) 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

(2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する

(3) 機器が満水になると、貯湯タンクユニットの排水口から水が出ます(満水までの目安:約30分)

(4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す

- ポイント**
- 機器(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)を満水してから電源を入れてください。
 - タンクが満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
 - 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

4. 電源を入れる

(1) 200V電源ブレーカーを「入」にする

(2) 漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

- 電源を入ると、昼間でもわき上げを開始します。
(リモコンの残湯量表示は右図参照)
- わき上げモードが「深夜のみ」の場合、昼間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順6終了後、満タンスイッチを押してください。

5. 機器の空気を抜く(エア抜き運転)

(1) 電源を入れる(上記4項)と、自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転が始まります。
(約10分間、自動で停止)

エア抜き運転中は、リモコンの「わき上げ中」が点滅します。終了時は、点灯にかわり、わき上げを開始します。
(深夜のみの場合は、わき上げを行いません。)

(2) エア抜き運転終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす(1分後、レバーを戻す)

- タンク内にお湯がある場合、エア抜き運転は行われません。リモコンの選択スイッチ「」を同時に3秒押し、エア抜き運転を行なってください。
- エア抜き運転を途中で終了させる場合は、リモコンの選択スイッチ「」を同時に3秒押ししてください。

6. リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻を確認します。
その他の設定(給湯温度など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。

ポイント ●初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。

電力契約モードの確認手順

- 台所リモコンの **決定** を3秒以上押す
- 選択スイッチ「**△**」を3回押す
- 合っていない場合
給湯温度スイッチ「**▲**」「**▼**」を押してモードを選ぶ(設定完了)
時刻表示へ戻すときは、決定スイッチを押してください。

電力契約モードの内容(平成20年6月現在)

表示	適用電力制度
EP 01	●東京電力:電化上手 ●沖縄電力:Ee5い い
EP 02	●中部電力:エライフプラン
EP 03	●中国電力:ファミリータイム
EP 04	●北陸電力:エルフナイト10プラス
EP 05	●東北電力:やりのナイト8 ●北陸電力:エルフナイト8 ●関西電力:時間帯別電灯 ●四国電力:電化deナイト、得くナイト
EP 06	●東北電力:やりのナイト10、やりのナイトS ●北陸電力:エルフナイト10
EP 07	●中国電力:エコノミーナイト
EP 08	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯22時~6時)
EP 09	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯23時~7時)
EP 10	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯24時~8時)

7. お湯を使う

約8時間で満タンまでわき上がりします。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

警告

使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

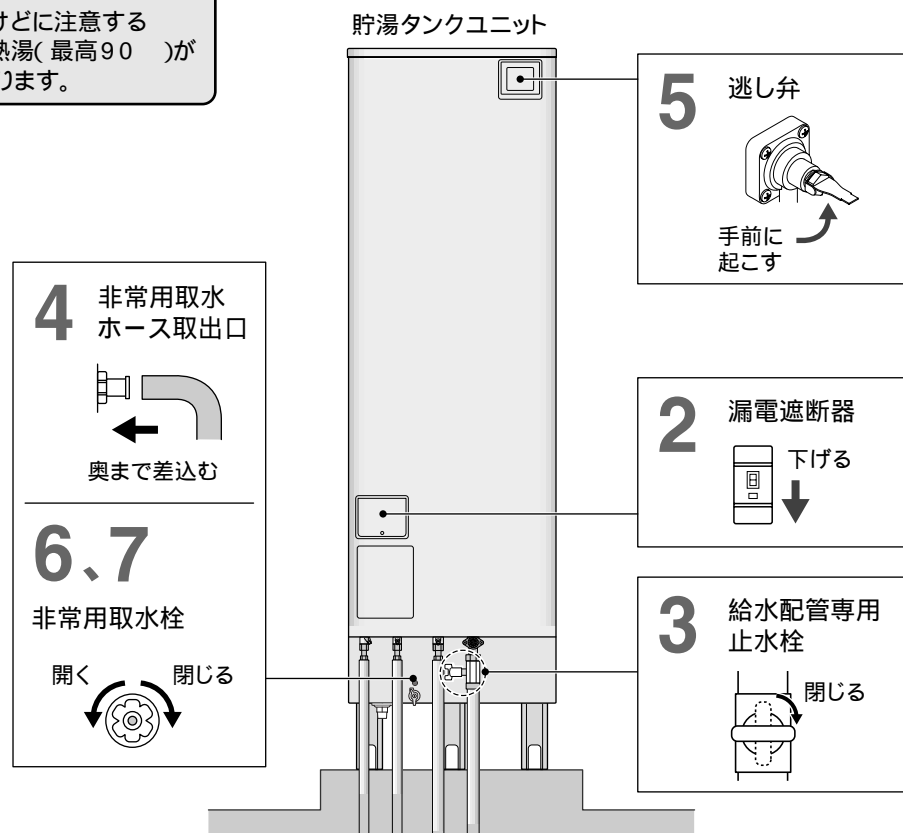
故障かな

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

警告

取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯(最高90℃)が
出る場合があります。



- 1 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの
前面カバーを外す(外しかた: P22)
- 2 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする
電気の供給を停止します。
- 3 給水配管専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 4 非常用取水ホースを取出口に取り付ける
- 5 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
タンクへ空気を取り入れます。
- 6 非常用取水栓を開く
タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。
- 取水が終わったら
7 非常用取水栓を閉じる

ポイント ●再び使用するとき、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水
を入れる(P24)を行ってください。

定期点検(有料)

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検(有料)を行なってください。
定期点検については、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項 目	内 容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃し弁)、給水用具(逆流防止装置) などの点検および消耗部品の交換
清 掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)、貯湯タンクユニットのストレーナーの掃除

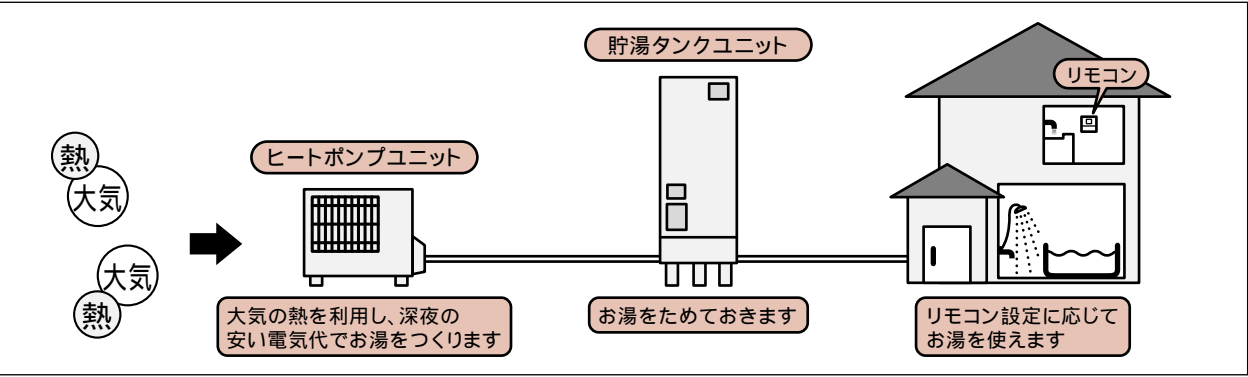
給水用具(逆流防止装置)に関しては、(社)日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。

消耗部品

- 下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。
- 減圧弁 ●逃し弁 ●パッキン類 ●混合弁
 - ポンプ ●バイパス弁 ●センサー類

機器の役割など

機器の役割



給湯機の基本原理

自動給水・押し上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通じて自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。

水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。
例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目で逃し弁が取付けられます。**わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。**

主に夜間に運転を行い、わき上げます

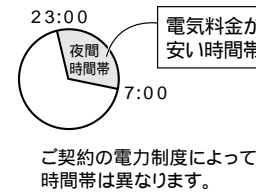
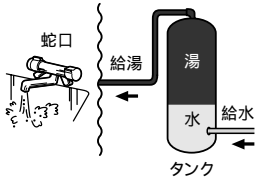
割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。(わき上げモードが「深夜のみ」以外のときは、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。)

わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。



ご契約の電力制度によって時間帯は異なります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

仕様

●耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が、耐重塩害仕様タイプは「-BSG」が付きます。

タイプ		一般地向け			寒冷地向け	
システム	形名	SRT-HP55N3	SRT-HP46N3	SRT-HP37N3	SRT-HPK46N3 SRT-HPK46ND3	SRT-HPK37N3 SRT-HPK37ND3
	適用電力制度	季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯(通電制御型)				
	電源	単相200V(50 / 60Hz共用)				
	最大電流	19A	17A	16A	18A	18A
	沸き上げ温度	約65 ~ 約90				
	給水器具認証番号	W009-20020-057				
	年間給湯効率(APF)注1	3.0 ⁷	3.2 ⁷	3.2 ⁸	3.2 ⁷	3.2 ⁸
貯湯タンクユニット	形名	SRT-HPT55N3	SRT-HPT46N3	SRT-HPT37N3	SRT-HPTK46N3 SRT-HPTK46ND3	SRT-HPTK37N3 SRT-HPTK37ND3
	タンク容量	550L	460L	370L	460L	370L
	設置場所	屋外専用	屋外専用	屋外専用	屋外専用 屋内 / 屋外兼用	屋外専用 屋内 / 屋外兼用
	外形寸法	高さ 幅 奥行	2100mm 700mm 825mm	2170mm 630mm 760mm	1830mm 630mm 760mm	2170mm 630mm 760mm
	質量(満水時)	82kg(632kg)	71kg(531kg)	62kg(432kg)	72kg(532kg) 72kg(532kg)	63kg(433kg) 63kg(433kg)
	水側最高使用圧力	193kPa(逃し弁設定値)				
	制御用消費電力	6W	6W	6W	6W	6W
ヒートポンプユニット	形名	SRT-HPU72A3	SRT-HPU60A3	SRT-HPU45A3	SRT-HPUK60A3	SRT-HPUK45A3
	設置場所	屋外専用				
	外形寸法	高さ 幅(配管カバー寸法) 奥行	732mm 800(+ 80)mm 285(+ 23)mm	638mm 800(+ 64)mm 285(+ 16)mm	732mm 800(+ 80)mm 285(+ 23)mm	732mm 800(+ 80)mm 285(+ 23)mm
	質量	56kg	52kg	57kg		
	中間期加熱能力 / 消費電力 ^{2 3}	7.2kW / 1.73kW	6.0kW / 1.34kW	4.5kW / 0.98kW	6.0kW / 1.34kW	4.5kW / 0.98kW
	夏期加熱能力 / 消費電力 ^{2 4}	4.5kW / 0.85kW	4.5kW / 0.85kW	4.5kW / 0.85kW	4.5kW / 0.85kW	4.5kW / 0.85kW
	冬期高温加熱能力 / 消費電力 ^{1 2 5}	7.2kW / 2.5kW	6.0kW / 2.0kW	4.5kW / 1.5kW	6.0kW / 2.0kW	4.5kW / 1.5kW
ヒートポンプユニット	冷媒名(封入量)	CO2(1.04kg)	CO2(1.1kg)	CO2(1.04kg)		
	運転音 ⁶	44dB	42dB	38dB	42dB	38dB
	中間期エネルギー消費効率(COP)注2	4.2	4.5	4.6	4.5	4.6

注1. 年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
年間給湯効率 = 一年で使用する給湯に係る熱量 ÷ 1年間で必要な消費電力量
APFは Annual Performance Factor of hot water supply の略
注2. 中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。
中間期エネルギー消費効率 = 中間期加熱能力 ÷ 中間期消費電力
COPは成績係数(Coefficient of performance)の略

1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
3 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)16 / 12 、水温17 、わき上げ温度65
4 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)25 / 21 、水温24 、わき上げ温度65
5 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)7 / 6 、水温9 、わき上げ温度90
6 定格条件下での測定(JISのルームエアコンディショナに準じ測定)
7 算出条件(出湯温度): 夏期65 、中間期65 、冬期標準65 、冬期高温90 、着霜期高温90 、冬期標準給湯モード65 、着霜期標準給湯モード70
8 算出条件(出湯温度): 夏期65 、中間期65 、冬期標準65 、冬期高温90 、着霜期高温90 、冬期標準給湯モード70 、着霜期標準給湯モード75

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

故障かな?と思ったら

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

症状	処置・確認事項
お湯が出ない 出が悪い	<ul style="list-style-type: none">給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。断水時は、断水が終わるまで待ってください。配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。お湯の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。
お湯が足りない	<ul style="list-style-type: none">お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。(P12)わき上げモードの設定が「深夜のみ」「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。(P13)リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行ってください。(P18)
お湯がわからない	<ul style="list-style-type: none">200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。(停止日数解除:P14、わき増し:P12)
お湯が白く 濁って見える	<ul style="list-style-type: none">水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油がでる、 お湯が臭い	<ul style="list-style-type: none">初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順(P22 P24)によりタンク内の湯を入れかえてください。
タンク内の温度が 設定した温度より 低い	<ul style="list-style-type: none">わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
蛇口のお湯が設定 温度より低い	<ul style="list-style-type: none">配管の放熱によって、温度が低くなる場合があります。
浴槽や洗面器等 に青い線がつく	<ul style="list-style-type: none">湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油污れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
浴槽の水が 青く見える	<ul style="list-style-type: none">光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等をよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

症状	処置・確認事項
貯湯タンクユニット の排水口からお湯 (水)が出ている	<ul style="list-style-type: none">わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合)は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯(水)が出ている場合は、逃し弁の点検を行ってください。(P18)
ヒートポンプ ユニットが運転/ 停止を繰り返す	<ul style="list-style-type: none">気温が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。
ヒートポンプユニット から水が出ている	<ul style="list-style-type: none">運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。温度、湿度によって、ヒートポンプユニットの底面に結露することがあります。
昼間にヒートポンプ ユニットが動く	<ul style="list-style-type: none">夜間時間帯のわき上げだけでは湯量が足りない場合、昼間時間帯に不足分のわき上げを行います。(過去1週間の使用湯量を学習して、その日の必要湯量を予測します。)冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。
わき上げモードを 「深夜のみ」に設定し ていても昼間にヒート ポンプユニットが動く	<ul style="list-style-type: none">外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。「電力契約モード」がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。(P25)
運転停止を設定して いてもヒートポンプ ユニットが動く	
ヒートポンプユニット の運転音がうるさい	<ul style="list-style-type: none">わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。また、外気温度が下がり、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。
夜間時間帯になっても すぐにわき上げを行わない	<ul style="list-style-type: none">給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークシフト機能)
わき上げ運転中 ヒートポンプユニット の背面が霜で白くなる	<ul style="list-style-type: none">冬期運転中は蒸発器のフィンに霜がつくことがあります。フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。

症状		処置・確認事項
リモコン表示部	点灯しない (電源が入らない)	●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。 再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンの時刻表示が 「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。(P10)
操作	設定した わき上げ温度まで わき上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 わき上げモードの設定をかえた場合 (「少なめ」「多め」または「おまかせ」「多め」) 給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温...10以下 ●残湯量...20L未満 外気温度が低い場合 機器の保護のため、外気温度がマイナス10(寒冷地向けはマイナス25)以下になると、わき上げ温度を自動的に約65に調整します。(リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。)
	満タンスイッチを 押してもわき上げ を開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。
	お湯を使って いないのに残湯量 表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
	音声ガイダンス が聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。
	突然、リモコンの ブザーが鳴る	●給湯温度を60に変更したときは、リモコンの音声ガイダンスやブザーが鳴ります。
	リモコンの表示が 消えている	●約1分以上、スイッチ操作がない状態が続くと、自動的にバックライトが消灯します。(バックライト自動消灯機能)
上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口(P35)」へご相談ください。		

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口(P35)」へご相談ください。

表示	原因・処置
U00	●給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。 ●給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。(P22) ●断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)へご連絡ください。
H03	●給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
H 10	●貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。(わき上げも行いません。) 正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。
H 11	●貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。(わき上げは行います。)
その他の表示 (E05)など	●給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。(P22 P35)

保証書(添付)

保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)

据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

2年間	本体(逃し弁、減圧弁)、リモコン、リモコンケーブル、パッキン
3年間	熱交換器、コンプレッサー
5年間	タンク不良による水漏れ

保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。(詳細は下記参照)

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(右一覧表)へご相談ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(730)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

ご連絡いただきたい内容

●品名: 自然冷媒CO ₂ ヒートポンプ給湯機
●形名: (例) エスアルテ・エイチピーテ・エヌ SRT-HPT46N3
●お買上げ日: 年月日
●故障の状況: できるだけ具体的に
●お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示されています。(77)

据付(接続・調整・取扱説明等)を依頼されると有料となることがあります。

延長保証制度 延長保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

保証期間

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

例
ご購入日
1年後
2年後
3年後
4年後
5年後
6年後
7年後
8年後 -
申込有効期間
3カ月以内

メーカー保証2年
延長保証
通常の
有料修理

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

ご購入日
1年後
2年後
3年後
4年後
5年後 -

メーカー保証2年
延長保証
通常の
有料修理

製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。延長保証はメーカー保証終了後のスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日 使用開始日 から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。保証金額は本体のご購入価格が限度となります。当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

保証内容

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用

=

技術料

+

部品代

+

出張料

延長保証対象商品と保証料

ヒートポンプ式電気給湯機

8年間保証料24,400円(税抜価格23,238円)

三菱エコキュート

5年間保証料11,340円(税抜価格10,800円)

2008年6月現在(保証料は変更する場合がありますのでご注意ください)

資料のご請求はこちらへ 三菱電機延長保証申込受付センター

0120-867-789

受付時間:平日午前9:00 ~ 午後5:30
(年末年始を除く)

資料のご請求はこちらへ 三菱電機延長保証申込受付センター

0120-867-789

受付時間:平日午前9:00 ~ 午後5:30
(年末年始を除く)

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず

お買上げの販売店へ

お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口** へお問い合わせください。

お問合せ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに
関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・
サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社
以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

三菱電機お客さま相談センター

全国どこからでも おかけいただけるフリーコ-ル

 **0120-139-365**

いつもサンキュー 365日(無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001
東京都世田谷区池尻 3-10-3
FAX (03) 3413-4049(有料)

(03) 3414-9655
(有料)


ご相談対応

平日 9:00 ~ 19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00 ~ 17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼				受付時間365日24時間							
北海道 ・ 東北	北海道	東日本フロントセンター		関東 ・ 甲信越	東京 神奈川 千葉 茨城 埼玉 栃木 群馬 山梨 新潟 長野 (飯田地区を除く)	東日本フロントセンター	関西	大阪 / 奈良 和歌山 / 兵庫 / 京都 滋賀		西日本フロントセンター	
	宮城	青 森 (017)773-8381 八 戸 (0178)28-8544	中国					広島 / 山口 島根 / 鳥取 岡山			
	青森	盛 岡 (019)637-7454 水 沢 (0197)25-4511						四国	香川 / 徳島 高知 / 愛媛		
	岩手	秋 田 (018)865-4471 横 手 (0182)32-1785 大 館 (0186)42-2781							九州 ・ 沖縄		福岡 / 佐賀 東日本フロントセンター
	秋田	山 形 (023)624-0018 鶴 岡 (0235)24-6161						長崎 長 崎 (095)834-1116 佐世保 (0956)30-7740			
	山形	郡 山 (024)959-6543 会 津 (0242)27-4426 原 町 (0244)24-2842 いわき (0246)26-1822									熊本 熊 本 (096)380-0211 八 代 (0965)33-5173
	福島	静岡 東日本フロントセンター							大分 大 分 (097)558-8803		
	愛知 三重 岐阜	宮崎 宮 崎 (0985)56-4900 延 岡 (0982)21-3540									
	北陸 石川 富山 福井		鹿児島 鹿児島 (099)260-2421 沖縄 沖 縄 (098)898-3333								
				西日本フロントセンター							

東日本 / 西日本フロントセンター

フリーダイヤル

 **0120-56-8634**

インターネット (無料)
www.melsc.co.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合

東日本フロントセンター
FAX (03) 3424-1115(有料)

(03) 3424-1111
(有料)

西日本フロントセンター
FAX (06) 6454-3900(有料)

(06) 6454-3901
(有料)

困ったときは

10 時刻を合わせる

12 お湯が少なくなったとき

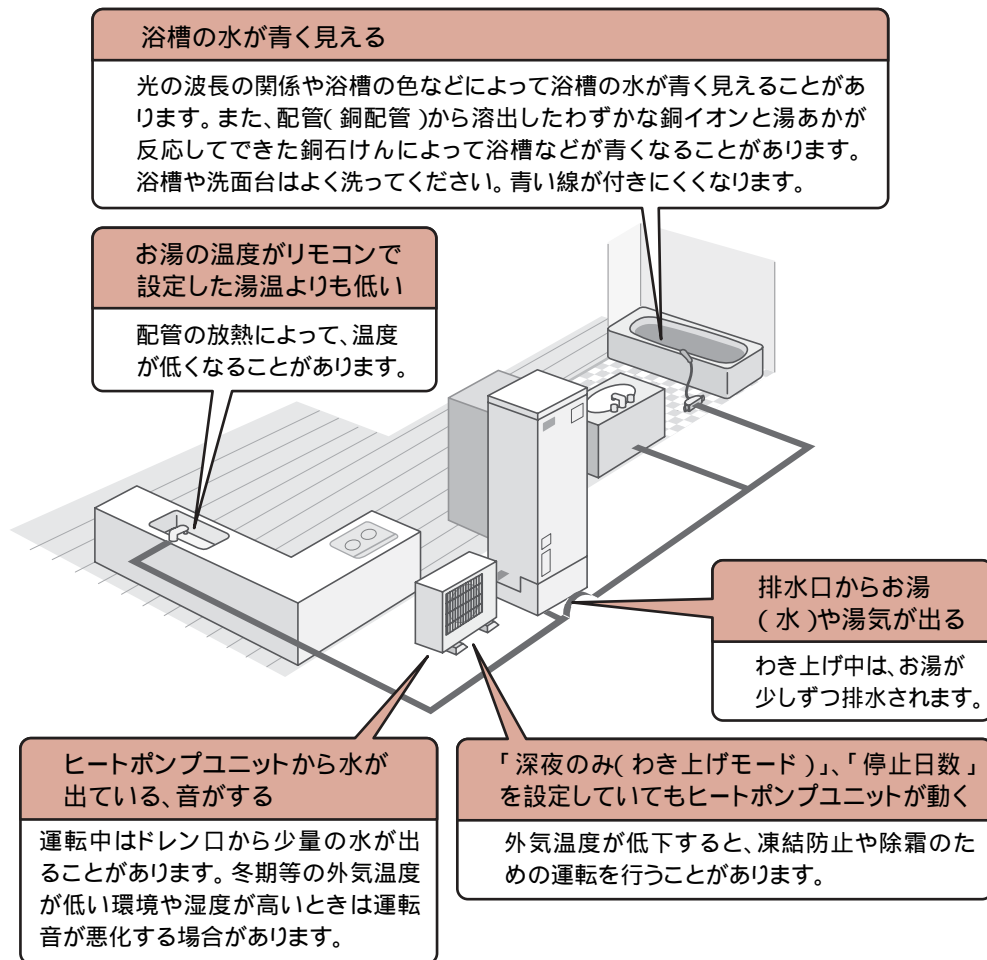
26 災害などによる断水

30 故障かな？

35 アフターサービス

28 機器の役割

よくあるご質問



製品形名 製造番号	SRT-	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-N3	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検 	長年ご使用の給湯機の点検を!		この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。	
	こんな症状はありませんか	水が漏れている 時々漏電遮断器がはたらく。 その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800
電話番号 0276-52-1111(代表)

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

T965Z071H01 <2008-06>